

キャンデリラワックス

キャンデリラ(*Euphorbia antisyphilitica*)はメキシコ北部のチワワ砂漠地方に生成する灌木植物で、この地方は夏冬ともに昼夜の寒暖の差が非常に激しく、雨もあまり降らず、過酷な自然条件下で生成している。それ故自分自身を保護する為、この植物独特の樹液を出し、その樹液で自木を包み込んで過酷な昼の日照と夜の厳しい寒さから自らを守っている。その樹液は少量のワックスを含んでおり、それを乾燥してワックスを抽出、精製したものが、キャンデリラワックスとしてメキシコより出荷されています。それでもまだ十分な精製とはいえず、弊社工場で再精製し、化粧品グレードまで格上げして販売しています。

用途：化粧品、インキ、エマルジョン製品、艶出し 等

キャンデリラの主な成分

ワックスエステル	20～26%
遊離脂肪酸	8 - 18%
遊離アルコール	8 - 13%
炭化水素	50～60%
樹脂分	12 - 15%

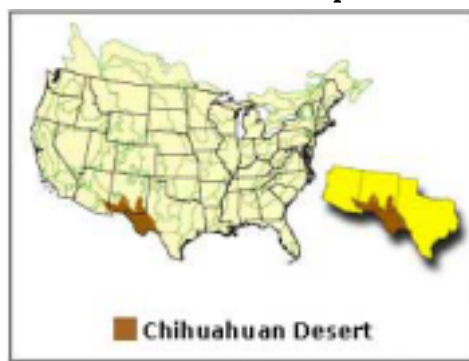
一般規格

融点	68 - 75
酸価	12 - 24
けん化価	43 - 65
強熱残分	0.3%以下
ヨウ素価	10 - 22

Candelilla Plant



チワワ砂漠 Map



製品写真
フレークス



(株)加藤洋行

(*無断記載を禁じます)